

付で寺内若一王子宮御
神興、豊楽寺木造十二
神将立像、川口観音堂

木造馬頭観音坐像の3点
を指定いたしました。



豊楽寺木造十二神将立像3体



川口観音堂木造馬頭観音坐像

主な質疑

●第464回定例会



前野由和 議員

国は、子供医療費助成の削減対策を行ってきたが、本町においては、小学校までは2割負担、小学生、中学生は3割負担の医療費を、町単独事業として支給し無料である。国の削減制度による国保会計歳入の削減額と今後の取り組み方は。

岩崎憲郎町長
27年度については、300万円ぐらいの減額となっている。こうした制度については廃止を要望するとともに、自治体が独自で実施している制度を国として実施すべきだと町村会等を通じて意見、要望を届けていく。

前野由和議員

地方創生費予算は、当初予算からの組み替えになるか。



田坂仁志 副町長

地方再生法が法改正し、4月20日に施行されたことによる組み替えと、新たに碁石茶販売強化支援事業費補助金800万円、クルベジ生産・販売強化支援事業費補助金150万円を計上している。



藤丸高德 議員

人事

教育委員会教育委員の選任



大豊町川口

大豊町川口
1129番地5
栗名 公平



嶺北消防署

29年を経過した消防ポンプ自動車の買い替えと聞いている。



宮内伸彦 総務課長

問 町保育所は子育て世帯の要望に
応えられているか

答 子育て支援を総合的に進める

前野由和
議員

国の基準では最大利用時間が11時間となっている。町の保育所入所の案内によると10時間30分となっている。保護者が町外勤務で送迎時間に間に合わず、やむなく広域保育や職場の無認可保育所を利用せざるを得ないとの訴えがあった。担当者から報告を聞いていると思うが現状はどうなっているのか。

岩崎憲郎町長

家庭、あるいは保護者の仕事の事情等による、保育すべき時間について、それぞれの話を聞き



大杉保育所

現在の運営がある。標準時間の11時間保育ができる体制に移行すべく取り組んでいるが、マンパワー等の問題で移行できない状況である。現在は、午後6時に迎えに来ることができない場合には、延長して迎えが来るまで保育をするという状況の中での運営となっている。

前野由和議員

年長組（5歳）に対する、実質保育料無料となる商品券交付など子育て支援の各種施策は評価するが、子育て中の保護者が最も必要としている最大時間及び延長保育など就労実態に即した保育の

前野由和議員

確保を要請する。

岩崎憲郎町長
保育士の確保など課題があるが、保護者の意見も伺いながら子育て支援を総合的に進める中で多様な支援に取り組む。

問 地域循環型社会は次代の要求、
再生可能な自然エネルギーの推進を
答 課題は大きいが積極的に取り組む

前野由和議員

4月1日より電力小売りが自由化された。比較的多くの電気使用量となる家庭向け販売が中心となっているようだ。今後、発送配電分離など2年ぶりの大改革だと言われている。福島第一原発連続事故発生により脱原発の大きな世論が形成され事故後の経過とともに、さらに大きくなっていく状況である。電力買い取り制度（FIT）により再生可能な自然エネルギーへの転換が爆発的に進むかと思われたが、「九電ショック」に見ら

れるように送電不可能との理由による買い取り拒否や変電・送電経費負担など課題や問題が起き始めた。多くの課題はあるが木質バイオマス発電への取り組みを進めよ。

岩崎憲郎町長

当初から計画に参加をしていた企業との取り組みについては、一度白紙に戻すという状況になっているが、木質バイオマス発電の可能性については検討中であり、国の政策変更による影響ではない。

前野由和議員

山に放置される木が搬出されれば燃料資材は必然的に確保できることになる。エネルギーの地産地消、地域循環型社会を創ることは次代への大切な贈り物であるのでは。



真庭市バイオマス発電所

岩崎憲郎町長

木質バイオマスの発電の推進については、課題

はあるが山の取り組みとして大切な取り組みだと理解しており、今後も積極的に取り組む。

問 高齢者の貧困解消に努めよ
答 サポートをしていく

前野由和議員

低額の国民年金のみで生活している高齢者を多く見受ける。明らかに生活保護基準以下であるなかで社会保険料負担がさらに追い打ちをかけている。若い時、怠けたから苦しいのではない。年金

代わりの老後の収入との思いで育てた木材が、国の政策等によって価格が低迷し、当てが違った。最後のよりどころである生活保護の活用も含めて相談にのり、暮らしを守る対策をとるよう要請する。